



ぼ う け ん

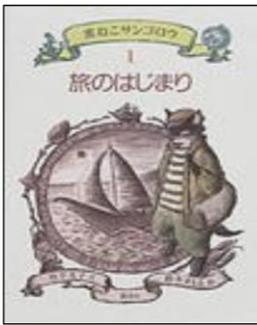


どこかへぼうけんに行ってみたいと思ったことがある？ 知らない所へ行くのはドキドキだけど、ワクワクするよね。きみも、本の中のぼうけんに出かけてみないか。



『 旅のはじまり 』 黒ねこサンゴロウシリーズ 1

竹下 文子/作 鈴木 まもる/絵 (偕成社)



3~4 年生向

おれの名前はサンゴロウ。ウミネコ族につたわる、たからをさがしている。とっ急電車マリン号の中で、ひとり旅をしていた男の子 ケンにあって、いっしょにたからさがしをすることになった。手がかりは、ぼろぼろになった1まいの古い地図だけだ。おれとケンはいくらやまみち、うみのがけづたいの、きけんな道を進んで行った。たからはきっとある と、しんじて。



『 あまがえるのぼうけん 』



たての ひろし/作 かわしま はるこ/絵 (世界文化社)

あまがえるのラッタ、チモ、アルノーが森へぼうけんに行くと、大きなヒキガエルに食べられそうになったり、こわいことがいっぱい。でも、こわがることで、きけんに早く気づくとわかり、3びきは元気にたくましく生きていきます。



1~2 年生向



『 クジラをめぐる冒険 』



5~6 年生向

石川 創/著 (旬報社)



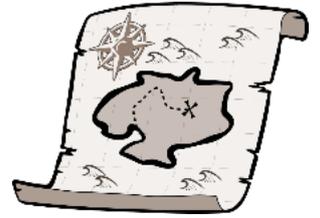
クジラのことを知っている？ イルカやシャチもクジラの仲間だって知っていた？ この本を書いた人は、水族館ではたらいたり、南きょくで調査をしたり、長い間クジラを追いかけて研究しています。それは、まるでクジラをめぐるぼうけんのようです。

かぞく みんなで本を読もう！



まだまだ ぼうけんはつづく！

もっと読みたいな ぼうけんのお話



『 まめじかカンチルの冒険 』



松井 由紀子／再話
安井 寿磨子／絵
(福音館書店)

カンチルは、体重2キロほどの小さなまめじか。でも、ジャングルで一番かشこいカンチルは、ワニやトラもへっちら。頭を使ってやりこめます。楽しいインドネシアの昔話。

1～2年生向



『 チム・ラビットのぼうけん 』

アリソン・アトリー／作
石井 桃子／訳
中川 宗弥／画
(童心社)

ある日、先生からむずかしいなぞなぞを出された子うさぎのチム。その答えを見つけるために、出会った動物たちになぞかけをします。チムがとけなかったなぞなぞの答え、みんなは分かるかな？

3～4年生向



『 ミス・ピアンカくらやみ城の冒険 』

マージェリー・シャープ／作
渡辺 茂男／訳
(岩波書店)



気高くかشこい白ねずみのミス・ピアンカ。ろうやに入れられた詩人を助けるため、ゆうかんな2ひきのねずみのなかまともに、「くらやみ城」へ向かうことになりました。それはとてもきけんな仕事でした。

5～6年生向



『 ぼくらの地図旅行 』

那須 正幹／ぶん
西村 繁男／え
(福音館書店)

3～4年生向



『 アレハンドロの大旅行 』

きたむら えり／さく・え
(福音館書店)

1～2年生向

ぼうけんにひつようなもの

地図 じしゃく 食べ物 たべもの 飲み物 のみもの それから・・・ 本当にぼうけんにひつようなものってなんだと思う？

たとえば ○○き ○○に入るものを考えてみてね。

